

謹賀新年



お客様に喜んで頂ける様

頑張ります

栢原貞枝

お客様に名前を覚えて
頂ける様頑張ります。 萩郁恵

健康に気をつけて

一年頑張ります

熊代由宏

より丁寧な仕事を心掛けます 高野勝範

世界中のホムを扱うプロとして服部
世の中に貢献します。 雅章

風邪を引かない様に

頑張ります

北川 陽輔

新しいお客様との出会いを
楽しみに頑張ります 南方裕之

早く仕事を覚える様

頑張ります

藤原一仁

アメリカ出張

12月14日～20日の日程でアメリカ広葉樹原木の仕入れに出かけて来ました。目的地はウイスコンシン州・オハイオ州・ペンシルバニア州です。3か所でコンテナ5本11樹種の仕入れをして来ました。

当初の目標はコンテナ6本若しくは7本でした。しかし最初の訪問先のウイスコンシン州の土場に着的たら、凄く出材料が少ないのが解りました。

右の写真はウイスコンシン州の土場です。見て頂いたら解ると思いますが土場に雪が全く無くぬかるんでいます。日本も暖冬ですが、アメリカの北部に面する地域もスーパーエルニーニョの影響を凄く受けているのを実感しました。出張に出かける前に小生の材木の大先生からは少しはこの状況を聞いてはいましたが、いざ直面してみると少しは動揺をもよおしかけました。しかし今回の出張のもう一つの目的は服部商店の工場長を仕込む事も大きなテーマでしたので心の動



揺を一切口に出しませんでした。そして英語でこの春にお世話になった原木の品質が良かった事のお礼と今シーズンも良い原木の仕入れをお願いしました。価格等の事を直ぐ聞かずに土場を見せて下さい。価格はその時に聞かせて下さいと英語で話し了解を得て原木全体を見せて頂きました。

この土場でレッドオーク33本、ブラックウオールナット27本、ホワイトオーク9本、ハードメープル8本、ブラックチェリー5本、バースウッド3本、ブラックアッシュ2本、合計7樹種本数で87本コンテナ3本を購入しました。

選木作業を2時過ぎに終え早速空港に戻り次のオハイオ州を目指しました。2時間のフライトでしたが、この時間凄く心が葛藤していたのを今も鮮明に覚えています。次のオハイオ州はウイスコンシンより南にあるのでより一層温暖化の影響を受けて土場に出材している材はもっと少ないのでは無いか、次の目的の樹種はホワイトオークです。同樹種は本来、ウイスコンシンよりオハイオの方が品質は上なのでコンテナ数を3本～4本に増やした選択をするより既定方針通りが良いのかはこの出張が終わるまでは多分解らないのかなとか色々悩みましたが、こんな事をこの時点で服部の工場長に話しても全く解決しません。

こういう考えをもたらしたのはウイスコンシン州のホワイトオークの原木の品質が昨年より少し良かったのではなかろうか、しかしこの地区のホワイトオーク原木を1本も過去に

製材した事が無いので中身が解らない以上これ以上進めるのは凄く危険が大きくなるのではないかも考えました。結局、最終判断は正しかったと日本に帰ってきてから思いました。

最後に先方の社長と現場で握手をしてここから移動しました。





次の朝オハイオの土場につきました。昨年12月に来ており3回目の訪問になりますのでウイスコンシンよりも格段に情報が有ります。土場のあちこちの配置も頭に入っていましたので英語のご挨拶も短時間で切り上げ早速選木作業の許可を頂き現場に入りました。この日は、現場のジェレミーがいませんでしたが、お父さんが重機に乗っていたので手を振ってご挨拶をさせて頂きました。

事は有る程度理解していましたが、予想以上に少ない事に驚きました。上記の写真を見れば一目瞭然です。

日本で考えていた構想はブラックウォールナット1コンテナ、ホワイトオーク1コンテナと言う事でしたが、ホワイトオークの品質が昨年と比べると木味が凄く落ちているのが解りました。多分昨年はインディアナのホワイトオークが多く入荷していたのでしょう。今年はそのインディアナの原木が少ないのではと思います。すぐに原木の選木作業に入りました。右の写真はホワイトオーク原木です。こんな感じの柔らかい原木が少ないのは直ぐに解りました。小生の気に入らないホワイトオーク原木を買い付ける事は服部商店のナラ・オーク系の本質低下を招き服部商店のイメージを下げる結果を招くので、オハイオはブラックウォールナットとホワイトオークで1コンテナにしようと決めました。今回はブラックウォールナットの購入原木の品質は出掛ける前は上級材を今年の三月に大量に買い付けていたので、上級材を20%、中間材を60%、その下を20%が目的でしたが、ホ



ホワイトオーク原木との積み合わせのコンテナ1本に変更したので上級材30%中間材を70%に変更しました。ブラックウォールナットの品質は全体の量が少ない割には、品質低下の主な事は原木の径が細くなった以外は木味的には昨年同様の感じはありました。

上記左の写真は直径40センチの細い原木です。右の写真は66センチの太い原木です。両方共良い原木だと小生は思っています。ところで原木だけを見たら正しい判断でも森林を見たら正しい判断だとはこの時点ではわかりませんでした。答えは次のペンシルバニアの土場についた時か、もしくは日本に帰国した時の判断になるだろうと思っていました。

服部雅章は広葉樹原木の主な仕入先を日本国内からアメリカに移してまだ半年の若輩者です。

オハイオ州からペンシルバニアまでは時速80マイルで飛ばして5時間掛かります。おおよそ東京と大阪の距離と同じくらいです。到着したのは夜9時を過ぎていたと思います。すぐに食事を取りホテルでベットに入った時間は12時を超えていました。翌朝8時にホテルを出発して1時間で土場に到着しました。

この日はあいにくの雨でした。土場に着いた途端ここも出材が昨年比半分ではないかと思いました。この現場は今年の3月に1度訪問していますが、その時の記憶と今回の現場の状況を頭の中で比較出来たのでその判断は間違いないと思います。

ペンシルバニアと言えばアメリカンブラックチェリー材の最高の産地です。ガムと言われる欠点が少なく明るい色をしているのがここの特徴です。



ここの現場でブラックチェリー原木を11本、レッドオーク3本、ホワイトアッシュ3本、ソフトメイプルカーリーを2本、チューリップウッドを3本、ホワイトオークの現地挽きに入っている樽に使えないホワイトオークの重



種チェスナットオーク1本の合計23本で1コンテナを購入しました。

直径58センチのレッドオーク原木

チェスナットオーク原木



3つの現場を12月に訪問したのは初めての経験です。しかし小生には亡くなった父親から仕込まれた経験と残してくれた人がいます。今回の出張でも二つの遺産は凄く役に立ちました。

商いに厳しく、息子にもきつい父親でしたが、今回のアメリカ出張を無事終わられた事は本当に父親から叩き込まれた教養と、辛抱、そしてどんな方にも公平な行動を取る日本人としての生き方を徹底的に教えられた事に凄く感謝します。

F A X 0 7 2 - 4 2 2 - 8 5 7 7



入荷情報

アメリカで買い付けた原木は2016年1月25日～2月上旬に入荷します。

下記が入荷樹種の内訳です。裏に参考写真を掲載しています。

- ・ レッドオーク 36本
- ・ ブラックウオールナット 38本
- ・ ホワイトオーク 19本
- ・ ブラックチェリー 16本
- ・ ハードメープル 9本
- ・ ホワイトアッシュ 3本
- ・ チューリップウッド 3本
- ・ バースウッド 3本
- ・ ブラックアッシュ 2本
- ・ ソフトメープル (カーリ) 2本
- ・ チェスナットオーク 1本
- 以上 11樹種 132本です。

購入等のお問い合わせの場合ご記入ください。

引き合い樹種	例えば チェリー
引き合い数量	例えば 1～2本
会社名	
担当者名	
ご住所	
連絡先電話か E-mail	

第15回服部商店勉強会開催の予定のご案内

2016年3月5日(土曜日) 午前10時～11時30分

予定樹種 レッドオークかブラックアッシュ原木の製材です。



ノーザンレッドオーク



ブラックアッシュ



ハードメープル



ブラックウォールナット



レッドオーク



ホワイトオーク



バースウッド



ブラックアッシュ



ブラックチェリー



チェスナットオーク



ソフトメープル (カーリー)



チャーリップウッド



ホワイトアッシュ

買い付けてきた11樹種です。